

この説明文書はお薬とともに保管し、ご使用の際には必ずお読み下さい。

たんをきる・せきが止まる
鎮咳去痰薬

第②類医薬品

セキセチン[®]SP錠

製品の特徴

セキセチンSP錠はたんを溶かし、薄め、そして排出を助ける成分やせきをおさえる成分を配合した鎮咳去痰薬で、のどにからまる不快なたんを取りのぞき、つらいせきをおさえます。たんのからむ湿ったせきにお悩みの方におすすめします。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

1. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないで下さい。
他の鎮咳去痰薬、かぜ薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬）、鎮静薬



相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談して下さい。
 - (1) 医師の治療を受けている人
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - (3) 授乳中の人
 - (4) 高齢者
 - (5) 本人又は家族がアレルギー体質の人
 - (6) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (7) 次の症状のある人
高熱
 - (8) 次の診断を受けた人
心臓病、高血圧、糖尿病、甲状腺機能障害
2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談して下さい。
 - (1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい

- (2) 5～6回服用しても症状がよくなる場合

効能・効果

たん、せき

用法・用量

1回下記量を食後に水又はお湯と一緒に服用して下さい。

年 齢	1回量	1日服用回数
成人（15歳以上）	2錠	3回
8歳以上15歳未満	1錠	
8歳未満	服用させないで下さい	

〈用法・用量に関する注意〉

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。
- (2) 本剤は、内核が腸溶性の有核錠ですので、かんだり、つぶしたりせずにそのまま服用して下さい。また、制酸剤又は牛乳と同時に服用しないで下さい。
- (3) 錠剤の取り出し方
右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用して下さい。（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）



成分とはたらき

成分	分量 (6錠中)	はたらき
L-エチルシステイン塩酸塩	300mg	たんを溶かして、からんだたんの排出を促します。
グアイフェネシン	300mg	気道液の分泌を高め、たんを薄めて排出を促します。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	75mg	収縮した気管支を広げて、せきをしずめ、たんを出しやすくします。
チペピジンヒベンス酸塩	75mg	気道液の分泌を高め、たんを薄めて排出を促します。また、せき中枢に働いてせきをおさえます。
セネガ乾燥エキス	120mg (セネガとして2,000mg)	気道液の分泌を高め、たんを薄めて排出を促します。
キキョウ乾燥エキス	200mg (キキョウとして900mg)	

添加物として、乳糖、ヒドロキシプロピルセルロース、無水ケイ酸、CMC-Ca、グリセリン脂肪酸エステル、ヒプロメロースフタル酸エステル、セルロース、マクロゴール、ヒプロメロース、酸化チタン、その他3成分を含有します。

〈成分・分量に関する注意〉

- (1) 本剤の服用により、糖尿病の検査値に影響を及ぼすことがありますので、糖尿病の検査を受ける場合には、本剤を服用していることを医師にお知らせ下さい。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
- (2) 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3) 他の容器に入れ替えないで下さい。
(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 開封後は品質保持の点からなるべく早めに服用して下さい。
- (5) 使用期限を過ぎた製品は服用しないで下さい。

ワンポイント情報

「せき・たん」は厄介物？

「せき」は脳の延髄という器官にあるせき中枢の指令による生理的な運動で、「たん」とともに気管や気管支にたまった異物（ゴミ）などを取りのぞいて、からだを守る役割を担っています。ですから、普通にせきをしている程度なら止める必要はありません。

しかし、たんのからんだしつこいせきが長く続くと、せきの刺激でさらに粘膜が傷つき、せきが続けて出る、という悪循環になります。このような場合、体力を消耗しますし、熟睡もできなくなります。特にお年寄りやお子様にとってはつらいものです。こじれる前に上手に手当てしたいですね。



お問い合わせ先

本剤についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店又は下記までご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

湧永製薬株式会社 東京支社 お客様相談室

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2丁目5-1

(03) 3293-3363 (ダイヤルイン)

(月～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00 但し祝日を除く)



販売元

湧永製薬株式会社

広島県安芸高田市甲田町下甲立1624

本社：大阪市淀川区宮原4丁目5-36

<http://www.wakunaga.co.jp/>

製造販売元

株式会社 廣貫堂

富山市梅沢町2丁目9-1